〔毎月三十二回第三種郵便物認可〕

夕刊
一月二十六日發行
（日曜祭日發行休刊）
定價一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金（一行二字詰）金六拾錢　同（二行）金九拾錢
編輯兼發行人　白木哲
印刷人　田中十六
發行所　磐城新聞社
電話　磐城一〇八番
振替東京一〇一八五六番

新興短歌論斷片

ケイ・ワイ生

（下）

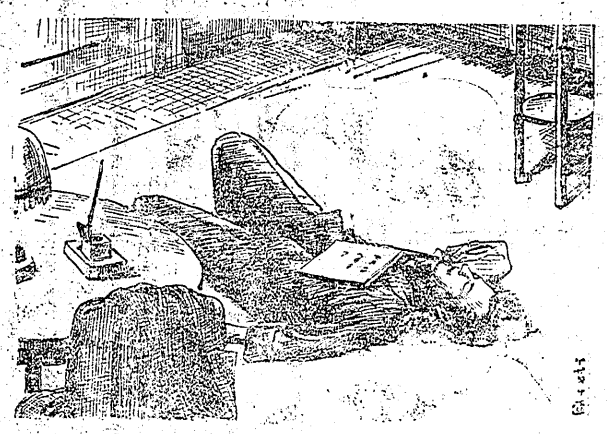
僕は、いま内容的な短歌歌壇に蔓延し、定型短歌方面で、現實主義的傾向もしくは其のこゝろのさかんになつたことも、また、諸君の肯定ずみのものではないか定型短歌方面のある一部では、かやうな傾向、表現をもつて、定型短歌が新しい領域を開拓したものであるとするやうにみなすなどの事あり、遂に奉勅命令に叛旗を飜してしまつたのは返す返すも遺憾に堪えない……昨夜より今曉に掛けて下士官以下數百名の歸順者があつたが、午前五時頃赤坂山王ホテル付近において約百五十名、赤坂見付付近において約廿名、午前二時廿分頃には赤坂溜池方面において約百廿名の歸順者があつた』

かくて午後三時に至り『叛亂部隊は午後二時頃をもつてその全部の歸順を終りこゝに全く鎮定ヶ見るに至れり』

と發表された。同時に特別の許可を得て寫眞部員が四方へ跳出して行く。その二人を捕まへて一緒の自動車に乘せて貰つた

日比谷から櫻田門、參謀本部から赤坂見付、山王下と自動車は一文字に疾走する。ホテル前で數十名の兵士が將校の訓示を受けてゐる情景を見る。皆足を屈した委だ

溜池から永田町。首相官邸、關前にも百餘名の整列した兵士。怒兵と警官。官邸の門は嚴重なる警戒。



れに服從せず遂に叛徒となり終つた。これから青年將校に對しては三日間に亘りて靜かに走つてゐた。陸軍の自動車だ。自動車の後にしか文字が泣いてゐるやうに見える

書終つた時、伊皿木隆は無理な酒に苦しく酔つてゐた。仰向に倒れていつか鼾を掻いて、彼は『高橋さん』と、その愛孫數人と夏草のいっぱい茂つてゐる庭らしい所で鬼ごつこしてゐる夢を見てゐた

停車不能、引返す

五六臺の自動車が連なつて靜かに走つてゐた。陸軍の自動車だ。自動車の後に我々も從ふ。質くと最前の事首腦部、同僚等より登夜自動車中の人は香椎中將だと云ふ鎮定後の市中巡視らしい

交通遮斷區域一巡。戒嚴司令部前で停る。香椎中將の靜かに自動車から降り立つた姿へ向けてシャッターが切られた

一歸社。岡田首相生存の報に奇蹟的な感じがする。誰もが顔を見合つて明るく笑つた

岡田さんは生きてゐたが高橋さんは矢張り返らない死んだのだ。が、どうしても死んだやうな氣がしない。『病氣は宜いのか。病氣に障りやせんか。晩飯はまだ？』

そんな風な言葉と一緒にひょっくり現れて來さうな氣がする

一生カード易ひはやめた

遭難各重臣に叙位叙勲の有難い御沙汰。高橋さんは大勲位に叙せられ、菊花大綬章を賜はり、そして正二位だ。畏しとも畏し

關係將校免官

高橋さんは本當に死んだのかなあ！　と、何度でもかう考へて呟かざるを得ない

高橋さん！

高橋さん！

『高橋さん！』の四字が幾つも並んで手記は終つてゐる。終りの方の『高橋さん！』は周圍のワクを越ねて大版の自由日記の一頁殆んど全面を占めてゐる。心なしか文字が泣いてゐるやうに見える

書終つた時、伊皿木隆は無理な酒に苦しく酔つてゐた。仰向に倒れていつか鼾を掻いて、彼は『高橋さん』と、その愛孫數人と夏草のいっぱい茂つてゐる庭らしい所で鬼ごつこしてゐる夢を見てゐた

くみゑるのではないか

此の種の作品が、定型律のものとして認容されるならば、新興短歌の理論が、みとめられぬわけはない。表面的の相違は、作者が定型律專門であるか、用語が文語派であるかの二點にとまるに過ぎない

病める身

宮本　博介

今年もまた春が訪れましたね思ひでの
爽やかな春の風が新しい
希望と
よろこびを世の人々のもとまで

我れ今病める身よいとほしみつゝ
今宵も淋しく遠い都の君
を想ひ
文机の前に病める身を支

句會の記

（第一回初鴨研究會記）

伊藤寒山子　記

上

尽りはやき冬雲に月の光りのかゝる廿三日の夕べ、寒山子居に委を現したのは露草であつた。四季薔薇のあわかなる蕾に睡をなげて火鉢に手をかざす句會の夜はこよなくたのしい。一雄みのり、枯野、青々子、欣

夕子、上鶴、寒山子の顔がゐ揃してもらつたならなど句作の努力に魂をうちこんでゐる。芹、春寒、水温むいづれも難題である。難かしいのは鍛練の足りないなる、心の鍛練の出來ぬ者にしめである。淋しいことだ。

近頃の石城俳壇のわびしさはどうだ。をのがじゝせゝこましくかたまり合つて、ほんとうに句作するの機會をもたない。一つ赤井嶽夫氏にでもお話して石城俳句會　年一回く

俳句大會は心の鍛練であり、心の鍛練の出來ぬ者に滿足な俳句は出來ない。鍛練を言ひ合つて、句の批評ばかりはじまつてゐるのだ。上の鶴がづらりと『さみどりにはいかん』と寒山子に切りこむ。寒山子負けてゐず

俳句をあそびと考へるものかゝつたら俳句を知らぬのであるし、俳句作家としての價値はないわけだ。火鉢にゝりかゝつてこんな考へも浮かんで來た

皆きびしい顔をして句作の重壓に堪へてゐる。鉢に盛られし室咲きの梅がひとりすがしく香を放つてゐる。ざはめいてゐる。思ふことを言ひ合つて、句の批評がはじまつてゐるのだ。上の鶴がづらりと『さみどりにはいかん』と寒山子に切りこむ。寒山子負けてゐず

磐城歌壇推薦歌

新妻久滿男選

挽歌—母逝く—

國　玉　喜　郎

○父につかへ殘るはらから育めと母の遺訓に生くべし我は
○何事も運命と知れどかなしみの餘れば綿らめむ術し知らなくに
○母逝きし哀しみも知らず、六つなる博は今日も犬とあそべる
○夕づけば寂しかりしが事もなきに泣き出づるなり博はあはれ
○逝く母の心にだゞに殘りしは博よ汝が生ひ立ちをのみ
○父は老い兄まだ若し母のなき六つの博はあはれなる子ぞ
○春來れば、母が愛でたる花の種墓に蒔かなと父にはかれる

今日の訓へ

哲名　山人

現代の科學は完成されたとは思はない、そこで科學で立證出來ないものは、迷信であるとか非科學的であるとか斷定し得るものではない、超科學的な神秘學は科學が完成された時やがて相握手し得ることが出來るのである。

小說　高橋是清

（221）

松浦泉三郎作
佐々木今朝吉畫

四日間　（五）

——伊皿木隆の手記。續

『兵に告ぐ』の臨時ニュースが放送されて約一時後、更に戒嚴司令部當局談として聽者の心をうつニュースが放送された

『廿六日以來部隊を率ゐて永田町付近に占據せる矯激なる一部青年將校は奉勅命令が下つたにも拘はらず

27日——△源實朝鶴岡八幡社前に殺さる（承久元）
1月——△伏見の義人小林勘次高瀬舟の暴利を幕府に訴出づ（元和四）　△久遠元帥宮薨去（昭和四）

廣告

第一期　昭和拾壱年拾壱月參拾壱日現在

磐城無盡株式會社

資産（借方）

	金額
現金預ヶ金	勘定二、九七八、七三
銀行預ヶ金	八、八〇、八七
郵便貯金	九一、二四、八金
有價證券勘定	一七、八三、九九
債券	二、四九七、〇五
債券	一、三〇、七五
株式	一九、七六、五〇
貸付金	勘定 二七、六八、三九
不動産擔保貸付	三、七六、六〇
拂込金限度貸付	〇二、八九、七九
給付金限度貸付	二、〇八〇、〇〇
未收無盡掛金	一八二、八〇六、〇四
假拂金	三三、五〇二、三六
營業用土地建物什器	四、二八、一四
不動産	五、〇〇〇、〇〇
株主勘定	五、〇〇〇、〇〇
拂込未濟資本金	五、〇〇〇、〇〇
合計	四八、五八、四八

負債（貸方）

	金額
未拂無盡給付金	六、一〇〇、〇〇
未拂入札差金	九、五〇、〇五
未拂解約返戻金	一五、二〇八、〇三
無盡給付賃金	二四九、二六、二四
假受金	四二、六六、八八
集金員勘定	二九、四七、四九
期限未經過掛金	一、三九、一九
加入申込證據金	三、七七、六〇
社員保證積立金	一〇三、九〇
株主勘定	三、二四一、二
資本金	一〇五、七九、六〇
社員退職給與基金	一〇〇、〇〇〇、〇〇
當期利益金	二、一〇四、七七
合計	四八、五八、四八

利益金處分

	金額
法定準備金	壹千圓也
特別準備金	五百圓也
社員退職給與基金	五百圓也
建築積立金	五百圓也
賞與金	參百圓也
配當金（年四分ノ割合）	五百圓也
後期繰越金	參百貳拾四圓八拾錢也

右之通リニ候也

株式會社
專務取締役　小宅嘉久治
常務取締役　野内彌富
常務取締役　豊田豊治
監査役　小野龜太郎
監査役　渡邊大郎

期末現在給付金契約高　五、四一二、九〇〇圓

付定時總會に於て有賀幸太郎を後任選任す

食事、喫茶、酒場を兼ねた
冬のサロン
男給の店
平・田町・電三五二

石城郡平町田町五番地
千代田火災保險株式會社代理店
㊐九三株式店
公社債式株
現物買賣
電話仲介
常盤光威
電話四六番
小店員募集（十五、六才）委細面談

平町公園下
桑原柔道整骨院
電話六七四
神經痛　リウマチス　オレンヂ　パスタ
きつねや

砂利
砂利採取場場……川部村沼部
玉石……山田村法田
貨物自動車運搬業、有價證券、株式債券賣買及仲介、商品依托販賣、千代田生命、千代田火災保險代理店
常磐線植田町
鮫川砂利採取及販賣
植田物産株式會社
取締役　山崎登
電話三一番
各種貨物一般及重量機械類運搬取扱
石城郡錦村中田
植田物産錦出張所
電話（植田）一三五番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
和洋銅物
金物問屋
㊋釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座　東京一〇九五六番
確實敏捷は㊋の生命なり

夜診療
（見習看護婦募集）
内科　胃腸病科　專門
眼科　花柳病科　性病科　皮膚科
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）

イヤ『君いゝ服を求めたね…』
レイの『リレ……正札堂さ…』
高級仕立
セビロ　17・50ヨリ
三ツ組　25・00
實用向
セビロ　10・00ヨリ
三ツ組　15・00
男女通學服賣出中
東京で一番のライオン印をお召し下さい。
正札堂洋服店
平停車場通　電四三六番

産婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄
入院隨意
病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

磐城の御みやげ品
名物　靈峰羊羹　金十錢
柿羊羹　姉妹品
沼ノ内辨天羊羹。
のり羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小賣御希望の方お申越下さい。
小川郷驛前
製造發賣元　平屋賣店

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長醫學士　金森五郎

豫算編成期に當面し
急速選定方を迫らる
けふ初委員會で協議

明年度豫算に八萬圓を計上されることになつてゐる平商業學校の新築問題は昨春來騒がれてゐたが容易に決定を見ず今や豫算編成期に當面して急速選定方を迫られた町當局では今二十六日午後三時から調査委員會を開き種々協議した

平商敷地

同敷地は一、鎌田山南部　一、梅ヶ町地内　一、第四小學校東方の三案に分れてゐたが鎌田山説は地勢其他から推して望み薄となり舊臘十八日の最終委員會には殘る二案が委員間に於ける論議の中心となつてそのまゝ今日に及んだもので果して何れに決定するか注目されてゐる

町村技術員及勧業主任が出席普通農事、午後は青年學校長、信用組合役職員自給肥料實行委員等が出席自給肥料の全般に亘る協議を行ふが縣側の出席者は左の如く決定した

江上縣農事試驗場長　椎技師（經濟更生指導農場）縣農會木村技師

御厩校奉安殿竣功　内郷村小島佐藤三平氏の全額千二百六十圓寄附により昨年十月來工を進めてゐた御厩小學校の奉安殿は愈よ出來上つて二十三日役場へ引渡し、二十四日午前十時から盛大な竣功式を擧行した

即決處分四百卅名
筆頭は自轉車乘り
平署昨年中の言渡し

色々な規則違反で平署からサンザ油をしぼられた上『即決』を言渡されたものは昨年中に男四百十六名、女十八名、計四百三十四名あるこのうち筆頭は無燈火、二人乘り等自轉車取締りの百五十五名（うち女六名）でお次は定員超過の自動車取締が六十七名、道路取締令の二十名等が多い方

科料は一圓以上二圓未滿の百八十九名（うち女六名）が一番多かつた

公會堂建設寄附金
豫定額突破か
西村藥局主二千圓

平町の公會堂建設寄附金募集は既報の如く全町議を五班に分け着々交渉に當り昨二十五日は田町一帶に亘つて交渉を進めたが、この分で行けば目的の四萬圓には到達するだらうと何れも意氣込んでゐる、町では明二十七日開かれる初町會に於てこれら寄附金を正式採納するする

○

平町二丁目西村藥局主鈴木新右工門氏は亡祖父堅助翁の遺志により昨二十五日二千圓を寄附した、外其後の分次の如し

千圓四丁目百澤易與　三百圓新川町松崎長太郎　二百圓同松崎菊三郎　同新川町木村寅次郎　同四丁目阿部唯次郎　田町金期中の疾病狀況左の如く計子重次　同高久忠　百五十圓白銀町川又章二　百二十圓　田町安齊徹　百圓田町清水廣政　同井坂久吉　同神谷富五郎　同石川トキ　同長橋町關内半平　同研町吉村安次郎　同古鍛冶町端山正男　同鍛冶町草野央　同萩原義雄　同古鍛冶町大谷要次郎　同鎌田町長谷川德代　同檜山謙　同金成忠義　義同五丁目酒井亥之次郎　四丁目志賀盛榮　同鎌田町阿部治作

自給肥料と農事協議會
來廿七日平町で

縣主催による郡下の農事並に肥料改善協議會は既報の如く二十七日平團体事務所樓上で開催する、午前中は

兒童に多い頭痛
第一校二學期の衛生統計

平第一校では健康第一を目標としてスポーツ方面に力瘤を入れる一面衛生設備の萬全を期し好成績を擧げてゐるが、同校衛生室第二學期中の疾病狀況左の如く計多數となつてゐる、又その種別としては頭痛の四十名が最多、腹痛が之に次ぎ三十四名あつた

感冒二〇　胃腸カタル一　七　耳下腺炎六　骨折一　五　外傷一一　扁桃腺炎七　齒痛　眼病各六　百日咳四　腎臓炎　肋膜炎各三　中耳炎　鼻カタル各二　氣管枝カタル　蓄膿症　盲腸炎各一

羽化登仙の氣分で
死へのステップ
酒に婆婆を踏み切る

錦村中田字上中田柴田稻作方居住宮城縣桃生郡中津山村字寺崎二十八番地生れ植田物産會社人夫高橋丑之助（三八）は一昨廿四日午前十一時半頃飲酒の上人絹工場前踏切に差かゝるや下り列車の後部に振れ左顔面を強打左足骨折の重傷を負ひ早速植田町前田醫師の應急手當を受けたが同日午後三時死亡した、そのため列車は約十分遅延した

公會堂の寄附募集に
寒波を泳ぐ町議諸公
殆ど豫定額に漕ぎつく

名譽ある町代議士と云ふあり、疝氣再發を覺悟の雄肩書の手前、々しい健闘振りこそ町民一同の心から感謝すべき處である

×

『ごムー惑でも……』

日頃他人に頭を下げるのが一番大嫌ひだと發明してゐる某町議が、ひどい鼻風邪に取り着かれて『ごメイ惑』と發音も出來ぬ程苦しい息の下から此際町の爲と云ふ大乘的見地に立つて、毅然たる個性と云ふものを棒に振り斯くは頼み込むと云つた鹽梅。氣の毒な話である

×

陳套な落語の文句でないが出す事なら親を刑務所から出すのも厭や——と云つたのも絶無と云ふ譯に行かず、差當り一番の苦が手は脱糞してある花崗石の樣に固くてきたない處で之の邊になると春先きの鶯陶しい日などには妖しく唸る程有り餘つて居乍ら、當に綺麗し乍ら後退するなんかも決して少くなさそうである

近頃以てご苦勞千萬の事で居る某町議が、ひどい鼻風邪に取り着かれて『ごメイ惑』と發音も出來ぬ程苦しい息の下から此際町の爲と云ふ大乘的見地に立つて、毅然たる個性と云ふものを棒に振り斯くは頼み込むと薩張り出さぬ許りか、四の五のと恐にも附かぬご託を竝べ結局『何れ……』とか何とか物別れになるのが多いのだから手數の懸る事膠しい

×

かと思ふと何事にまれ普段は相當大風呂敷を擴げ乍ら、此時丈けは『手前共などでは迚も……』なんて自分のスケールを馬鹿に小さうとならば、今からでも遅くない、進んで寄附を申し出づべしとある

×

遮莫。各町議の苦闘は酬はれ、募集の成績も殆ど豫期の如く進行し、明日の町會には正式に採納の決議を見る模樣で近代樣式の構成美を誇る縣案の公會堂は日ならずして平町に一新風景を添加する筈であるが、華やかな竣功式當日晴々しい面地を見せて之に列席しやうとならば、今からでも遅くない、進んで寄附を申し出づべしとある

提供心臓打診

即決處分四百卅名
筆頭は自轉車乘り
平署昨年中の言渡し

受驗者殺到か

仙台遞信講習所の入所試驗は三月一、二の兩日平町（場所未定）で行はれるが締切り來月十五日、卒業期に當面し受驗者殺到を豫想されてゐる

仙遞講習所試驗

鐵道傭人試驗
來月磐中で執行

水戸運輸事務所管内の傭人採用試驗は來月十四日午前八時から磐中で行はれるが受驗者七百十名

水戸管内では合計二千餘名でこのうち採用は約百名位であらう

偽電報で梨子を詐取
狡い飛田告訴さる

赤井村字常住で梨子園を經營してゐる矢野金市（五三）小野三與登（四四）鈴木章（三九）の三人は平町一丁目居住炎城縣那珂郡前渡村飛田惣一（三五）を平署に詐欺で告訴した

飛田は昨年十月中前記三名の留守中依託販賣してゐるのだからと家人を欺し矢野方から二百二十五箱（二百四十七圓五十錢）小野方から四十箱（四十二圓）鈴木方から百二十箱（百六十五圓）の梨子を詐取したもの

更に矢野等三名は東京市豊島區西巣鴨町四丁目二榊原常吉を同樣告訴した

榊原も依託販賣を種に偽電報で矢野方から百四十九箱、鈴木方から百四十五箱、小野方から四十箱をマンマと詐取したもの

中署では直に出荷組合に警告を發し此種犯罪の取締りを嚴にする事となつた

偽名して只乗り
自稱勿來町出藏炭

鑛々夫吉成元之助（三二）は二十四日午後七時半頃炎城縣多賀郡松原町高萩貸切自動車業綿引春雄方のハイヤーで助川町料理店大黒屋まで乘つけ所用が濟まぬとて再び高萩まで引返したが懐中無一物のため乘車料四圓の支拂に窮し遠藤元之助と偽名し傷害保險金四十圓が近く下附されるからそれまで待つて呉れと偽瞞し逃走せんとしたが綿引方で同人の擧動に不審を抱き松原署へつき出したが申立ては何れものらしい

踏んだ上に盗む
植田の旅館を荒した物騒な無錢投宿男

一昨廿四日午後十時頃植田驛前若松屋旅館へ福島市新町二五石炭商佐藤清吉（四四）と稱し投宿した男が宿料を踏み行き掛けの駄賃に同宿の西川繁太郎所有短靴（時價二十八圓）を盗み逃走した事翌朝發見、早速その筋へ訴へ出で隣接各署へ手配中であるが、同人は縞の和服に二重廻しを着、所持品はないとの事である

船から盗む

四倉菅波氏の被害

四倉菅波末吉氏所有揚繰船第一稲荷丸機關部より去る十四日より一昨二十四日迄の間にシャフト價格四百圓を盗まれてある事を

天氣豫報
（小名浜測候所報）

今晩は北西の晴　明日は北の風晴時々曇

上川訓導嚴父
平第三小學校訓導上川恒平氏嚴父湯本町會議員上川才松氏

一昨二十四日長逝、今二十六日同町勝行院で葬儀を執行したが會葬多數、平町から多賀郡松原町高萩貸切自動車業綿引春雄方のハイヤー十五名等參列盛葬であつた

行年六十四歳、少壯來磐

ハイヤー河中へ顛落
きのふ上小川縣道で
乘客重傷、運轉手無事

きのふ上小川縣道で乘客平町三丁目三七芹澤自動車車輪がパンクしそのはづみ雇運轉手後藤新一（三三）が二を喰つて六尺の河中へ自動車諸共顛落大破、乘客平町十五日午前九時ごろハイヤー材木町三六近藤新太郎（五四）を運轉小野新町に向ふ途中上小川下村平地内縣道下氏は頭部、右肘、足等に全治五週間の重傷を負つた

酒に婆婆を踏み切る

公會堂建設寄附金
豫定額突破か
西村藥局主二千圓

自給肥料と農事協議會
來廿七日平町で

兒童に多い頭痛
第一校二學期の衛生統計

即決處分四百卅名
筆頭は自轉車乘り
平署昨年中の言渡し

平商敷地

豫算編成期に當面し
急速選定方を迫らる
けふ初委員會で協議

提供心臓打診

公會堂の寄附募集に
寒波を泳ぐ町議諸公
殆ど豫定額に漕ぎつく

受驗者殺到か

仙遞講習所試驗

鐵道傭人試驗
來月磐中で執行

偽電報で梨子を詐取
狡い飛田告訴さる

偽名して只乗り
自稱勿來町出藏炭

踏んだ上に盗む
植田の旅館を荒した物騒な無錢投宿男

船から盗む

天氣豫報
（小名浜測候所報）

今晩は北西の晴　明日は北の風晴時々曇

上川訓導嚴父
平第三小學校訓導上川恒平氏嚴父湯本町會議員上川才松氏

一昨二十四日長逝、今二十六日同町勝行院で葬儀を執行したが會葬多數、平町から多賀郡松原町高萩貸切自動車業綿引春雄方のハイヤー十五名等參列盛葬であつた

行年六十四歳、少壯來磐

ハイヤー河中へ顛落
きのふ上小川縣道で
乘客重傷、運轉手無事

酒に婆婆を踏み切る

物價は暴騰しても
古着に値上り無し！
當店質流と東京神田山川總本店の仕入品　多數取揃ふ
是非御覽をお待申して居ります。
平町三丁目　旭屋衣裳店　電話四二五番

コールタール販賣開始
一、コールタール一本（十五キロ入）金八十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試メシ下サイ。
電話三七番
平驛前　阿部石炭店

入院應需（自炊の便あり）
明雲堂眼科醫院
田町（平三丁目裏川岸通）（電話六六九）
「看護見習募集」

耳鼻咽喉科
高柳醫院
平驛前（電三三六）
醫學博士　高柳博明
（入院應需　自炊ノ便アリ）

外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
〔血液檢査毎日〕
イツデモ入院デキマス。
平町新川町二七〔電四六四〕
醫學博士　北川芳夫
技師　小林良次

廣告
おでん　一平
電話二六三番
出前迅速

裏面略

東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神誠館

判定應需
▲一白　名聲かんばしく衆望を得る幸運日交際類注意▲二黑　元氣を振立て、貫徹に努むれば萬事も

滿潮前五、三〇　後四、〇〇　干潮前一〇、四〇　後一一、二〇

二十七日
（小名浜測候所發表）

途す▲三習　衰運著しく失敗勝ちに終る日病厄旅行注意▲四慶　人和はあれども望を遂げんは難し軽動凶▲五黄　物事有望に展開すべしと雖他の言に迷ふ▲六白　勝華く旅立調ひ後は人の貧苑を待つのみ▲七赤　大に進出すべき幸運に恵まる前途有望の日▲八白　福德圓滿の日起業開店著請造作移轉婚談吉▲九紫　伏兵に襲はれ敗北する如し又病厄怪我注意